



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 発行10月15日 No.194

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ:鳥 ホオジロ:木 イチョウ



スポーツの秋

秋は食欲が出てきて夏バテが回復する季節ですが、太り過ぎは健康に大敵。スポーツに親しみ、健全な心身を養いましょう。

10月は「体力づくり月間」です。

(写真: 幼稚園運動会)

60 / 10月号



第4地区敬老会

おじいちゃん おばあちゃん いつまでも お元気で

地区毎の65歳以上の状況 (8月31日現在)

地区別	65~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	計
1	101	116	52	5	274
2	125	166	52	4	347
3	87	95	36	4	222
4	95	123	42	7	267
5	66	106	30	6	208
6	148	195	71	6	420
7	106	128	62	7	303
8	54	52	21	1	128
9	60	66	19	1	146
老人ホーム	6	22	13	3	44
計	848	1,069	398	44	2,359

町の総人口に占めるお年寄りの割合は12.6%

多彩な催しで長寿を祝う

九月十五日の「敬老の日」や老人福祉週間にちなみ、多年にわたり社会に貢献された老人を敬愛し、その長寿をお祝いする行事が九月十五日と十六日の二日間、各地域で盛大に行われました。

敬老会では、公民館長や部長、町長などから祝福と労いの言葉が述べられた後、祝詞の踊りや小学生の器楽演奏、青年、婦人会の歌や踊りなどが披露され、熱演に盛んな声援を送り楽しいひとときを過ごしました。

一方、敬老運動会には、お年寄りを招いて地域住民が総参加。各

町内の最長者(94歳以上) 9月15日現在

氏名	性別	生年月日	満年齢	地域
神宮 有	女	明治20.4.29	98	山王原
田内 實	女	20.9.14	98	*
内村 隆	男	20.11.28	97	下新
飯塚 隆	男	21.1.9	97	老人ホーム
飯塚 隆	女	21.5.8	97	田上
飯塚 隆	女	22.2.3	96	池上
飯塚 隆	女	22.7.4	96	田上
飯塚 隆	女	23.2.14	95	池上
飯塚 隆	女	23.10.15	94	大野
飯塚 隆	女	23.11.1	94	野池
飯塚 隆	女	24.7.28	94	飯塚
飯塚 隆	女	24.9.14	94	下新



敬老運動会に参加されるお年寄り

集落や支部対抗で競技が行われ、子どもからお年寄りまで、かけっこや団技にハッスルし、楽しい一日を過ごしました。

老人家庭奉仕員の派遣事業



90歳のお年寄りを慰問 激励される町長

この事業は心身の障害があるため日常生活を営むのに支障があるお年寄りで、看護者がいない人に対して老人家庭奉仕員を派遣しお年寄りの世話をすることを目的として実施しています。詳細については福祉生活課にお問い合わせ下さい。☎三三二二(内線三)

十七名の九十歳到達者を慰問

「敬老の日」を間近にひかえた九月十二日、満九十歳になられたお年寄り十七名を桑畑町長が慰問しました。当日は、男性八名、女性九名のお宅を訪れ「いつまでも元気で長生きして下さい」と声をかけ、町が先に撮影した顔写真とお年寄りを一人ひとりに贈り長寿を祝いました。

ボケの六十までは予防できる

血管の若さを保つには、どのような点に気をつけたらいいか、予防のポイントを挙げてみましょう。

● 高血圧を予防することです

血管の老化を促進する最大の原因は高血圧です。これを防ぐには、第一に、塩分の摂取量を減らすこと。第二には、血管の栄養源である良質のタンパク(鶏肉や大豆製品)を十分に取る。第三に、すでに血圧の高い人は、医師に相談して降血圧剤を服用するなど、適切な治療を受けて血圧をコントロールすることです。

● タバコはボケ促進剤、すぐにやめましょう。

タバコは血圧を上げ、動脈硬化を促進し、脳細胞の働きを弱めます。禁煙を解消しましょう。

● 肥満を解消しましょう。

私の生活



四半的を楽しまれるお年寄り

我が国の平均寿命は男性七四・五四歳、女性は八一・一八歳と年毎に伸びて長寿国となっています。「老後を健康で楽しく過ごしたい」というのがお年



上米 原田 シゲノブ (95歳)



田上 飯屋 宗右 工門 (97歳)

私は朝六時に起きて食事した後、新聞に目を通し毎日の出来ごとを日記帳に記録したり、テレビ(すもう)を見るのが日課です。長生きの秘けつは……食べ物の好き嫌いはなく、若いときから暴飲暴食を慎み規則正しい生活をしてきたことでしょうか。

私の一日の生活は毎朝六時三十分起きて食事をした後、洗たくをしたり、庭の草取りや留守番などをして常に体を動かしています。そして夜八時頃には床につきます。長生きの秘けつは……陽気な性格と規則正しい生活ではないでしょうか。



崩壊を防止する団員

堤防崩壊を想定し 宮田池で防災訓練

「防災の日」の九月一日、上米の宮田池で大掛りな防災訓練が行われました。

これは予想される台風、豪雨、地すべりなどの災害に備えて、防災関係者と地域住民が一体となり災害時に対する心構えと、防災体制の確立を図るため行ったものです。

訓練には町をはじめ消防団や第二地区公民館、地区の青年・婦人会、警察署、消防署などから約百七十名が参加。訓練は危険箇所をパトロール中の第二消防団から宮田池の堤防中央付近法面の一部崩壊と浸透水筒所を発見し、

早急に対策を講ずる必要があるという想定で行われました。

消防本部が崩壊現場に急行し確認するとともに、さっそく広報車で付近の住民に避難を呼びかけるし、現場付近の道路を通行止にし通行車両の安全を図りました。

その後、第二消防団は住民を避難所へ誘導するとともに、避難中に足を骨折した負傷者を救出し救護班に引継ぎました。救護班は負傷者の応急処置を行い救急車で病院へ搬送。また、青年・婦人会は避難者への炊き出し(にぎりめし)を公民館で行うなか、現場では消防団による土の積り竹さく作業で法面の崩壊を防止するなど、本番さながらの熱のこもった訓練が行われました。

予告なしに発生する災害に対し日頃から万全の対策をたてておきたいものです。



負傷者の応急処置

一般計補正予算案など8議案を可決

9月定例議会

本年度の第六回町議会定例会は、九月十七日から二十五日までの九日間にわたって開かれ、病院事業会計と水道事業会計の決算の認定及び、一般会計補正予算案など六議案を提案し原案が可決承認された。ほか追加提案された教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員などの選任の同意が求められました。

なお、主な議案は次のとおりです。

(一) 昭和五十九年度の病院事業会計と水道事業会計の決算認定について
それぞれの決算書が提出され認定されました。

(二) 町工業開発促進条例の一部改正
町内に製造工場を新設し、又は増設する場合その建物や機械及び、附属設備などに課税する固定資産税の課税免除基準額を二百万円引き上げて千七百万円にすると共に、この制度を二年間(昭和六十二年十月二十日まで)延長することにしました。

(三) 一般会計補正予算(第五号)繰越金一億七千三百五十一万一千円をほじめて、県支入金、町債、国庫支出金などの歳入



梶山(69歳)
小牧憲三氏



梶山(70歳)
鈴木重孝氏

(四) 固定資産評価審査委員会委員に小牧憲三氏を選任
十月二十五日付で任期満了となられる松山重次氏の後任として、小牧憲三氏が選任されました。

(五) 教育委員会委員に鈴木重孝氏を再任
九月三十日で任期満了となられる教育委員に、鈴木重孝氏が再任されました。

(六) 一般会計補正予算案など六議案を提案し原案が可決承認された。ほか追加提案された教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員などの選任の同意が求められました。

図書館だより(第二号)

一、図書館で今

(一) 「三股のことを書いた本はどれですか」と尋ねて来た男子中学生。「自由研究ですのです」と言って、昭和三十六年版三股町史をひもとき、熱心にメモをする姿がありました。

(二) 「三股に誘致している会社とその仕事はどれを見ればよいですか」と聞いた女子高校生。山幸・聖天訪や町内のような業等について調べていました。

(三) いつも三人そろって、一ヶ月に九回も本を借りに来た仲のよい小学生の兄弟妹がいました。

二、子どもは、もともと本が好きです。

子どもは生まれながら知っていたりやです。本を読むと、主人公になり昔の人に話してもでき、宇宙の神秘もどきます。

三、子どもには、適書(その子どもに合った本)を紹介しましょう。子どもが、自分に合った本に出会うと、夢中になって読み、楽しみにひたります。適書とは、「その子どもの経験・求知心・読書能力に適した本」です。

集落ぐるみの間伐を
愛林組合を設立

大木を育てようとして森林組合では、さきほど愛林組合を設立しました。本町の森林は壮年期を迎え、枝と枝とが混みあい下葉が枯れて「もやし木」となっています。そこで集落ぐるみの間伐を実施し、大木を育てようとして、川南・川北の地区

「候補者等の寄付の禁止」について

「候補者等の寄付の禁止」について

なぜ、公職の候補者等の寄付を禁止しているのですか?

選挙には、沢山のお金がかかるという話を耳にされた方も多いことでしょう。確かに選挙運動には看板やポスターの作成費など費用がかかります。しかし、選挙にお金がかかるというふだんの有権者に対するお付き合いのための費用であるといわれます。あらゆる機会に祝儀、香典などの名目でも支出する金額は、年間にしてみれば大変な額になることでしょう。

候補者にしてみれば、ふだんから有権者とのつながりを大事

にしておかないと、いざ選挙のとき自分を支持してくれないという心配があり、どうしても断り切れない面があります。

このようなことが選挙にお金がかかる原因となっており、ひいては選挙や政治の腐敗につながる、もとにもなるので公職選挙法で、公職の候補者等が選挙区内の者に寄付をすることができず、一般の人が候補者に寄付を求めることも禁止されています。

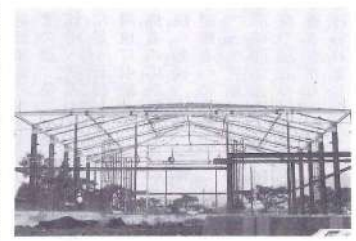




順調に進む三股中 体育館改築工事

本年の教育施設整備事業として計画されていた三股中体育館改築工事は、さる七月二十六日着工以来天候にも恵まれて工事も順調に進んでおります。

体育館は現在地に鉄筋コンクリート造の平家建て、館内はバスケットコートが二面とれる広さの競技場やミーティングルーム、更衣室、器具庫、ステージなどで建築



面積千四百四十平方は、建設費一億七千九百九十万円を投じて、来年二月中旬には立派な体育館が完成する予定です。



乳牛飼育で生き甲斐づくり

町が進めている乳牛牝牝肥育畜産供給事業で五頭の乳牛が、さきほど肥育農家に引き取られました。

この事業は家畜飼育のできる六十五歳以上のお年寄り、町内の酪農家と実益をかねて、町内の酪農家で生産された生後一週間前後の乳牛牝牝を斡旋し、約六ヶ月間飼育された後、町内の肥育牛農家に畜産として供給され、乳牛の生産一貫体制を図っているものです。

今回は第七地区公民館で飼育者と肥育農家とが話し合い飼育された五頭が肥育農家に引き取られていきました。

台風十三号で農作物、農業用施設などを中心に大きな被害

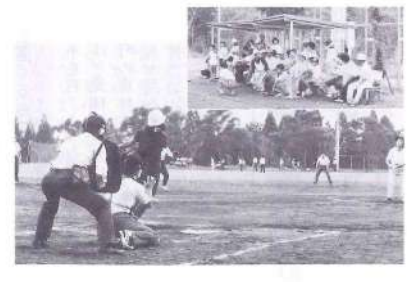
さる八月三十一日午前三時五十分、鹿児島県枕崎市付近に上陸した台風十三号は、九州西岸を北上し大きな被害をもたらした。この台風で町内では農作物をはじめ、農業用施設、倉庫、車庫などに大きな打撃を受けた。

町内の被害状況は次のとおりです。

◎農作物関係	
水陸	56452千円
野	34,107千円
飼料	43,855千円
豆	1,360万円
ハウス(園芸)	1555千円
農	934千円
施設(道路・水路)	302千円
その他	425千円
児童関係	200千円
学校関係(自転車置場など)	3,500万円
	5箇所
	800万円
	180万円
	876千円



二地区が優勝



家庭婦人の健康保持と体力の向上を目的とした第三回町婦人ソフトボール大会は、さる九月一日旭ヶ丘運動公園で行われました。

試合は十チームを三バートに分けてリントリーグと決勝トーナメントで行われました。どのバートもお父さんや子どもたちが大勢駆けつけ、お母さんたちの懸命なプレーに盛んな声援を送っていました。尚、結果は次のとおりでした。

優勝 二地区、二位 五地区
三位 六地区、四地区

巡回スポーツ教室で健康保持

町教委では、運動する機会に恵まれない壮年層を対象にした巡回スポーツ教室を各地区毎に、さる六月から九月まで小学校体育館で開催しました。

この教室は運動不足の解消と体力の向上を図ろうと週一回ずつ十週にわたって開いたものです。ミニバレーのルールと基礎練習をはじめ、インディアカ、レクダンス、ゲーム、ストレッチ体操などに参加者は快い汗を流しておられました。



楽しく遊んで下さいと 積み木を贈る

林業研究グループは、先ほど保育園(二ヶ所)と幼稚園に手づくりの積み木を、それぞれ二箱(約四十キロ)ずつ贈りました。

幼児たちに積み木遊びを通じて創造力や協調性を養って下さいと



長い間ご苦労さまでした 消防団退職者14名に感謝状

町ではこのほど、消防団を退職された十四名に感謝状を贈りました。

今回の退職者は五年から十五年もの長い間、消防団員として日夜を問わず住民の生命と財産を災厄から守り続けられた方々です。町長が一人ひとりに感謝状を贈りこれまでの苦労を労いました。

退職された方々は次のとおりです。

川嶋和豊(第一部竹内、坦) 第一部
中内久能(第二部出水勝己) 第一部
中村秀利(第二部内村立吉) 第一部
西村善家(第二部木下正己) 第一部
久保重海(第四部富田安親) 第四部
南崎雄二(第四部野崎正一) 第四部
野口英治(第六部山之内六夫) 第七部



贈ったもの。杉、栲、広葉樹などの木片で作った積み木は木の香りがたぐい色々な形があり、幼児たちは「すばらしい贈り物がありがとう」とお礼を述べた後、さっそく楽しく遊んでいました。

贈ったもの。杉、栲、広葉樹などの木片で作った積み木は木の香りがたぐい色々な形があり、幼児たちは「すばらしい贈り物がありがとう」とお礼を述べた後、さっそく楽しく遊んでいました。

グランドチャンピオンに福田さん
乳器具に下沖さん

本年度の町乳牛品評会は、さる八月二十日畜産センターで行われました。

成績は次のとおりでした。(優等のみ)

◎第一部 生後一年以上十八ヶ月未満
福田 誠(前目)出水 勉(谷)

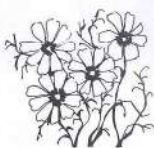
◎第二部 同十八ヶ月以上十八ヶ月未満
高里 宏(小鷺巣)出水 勉(谷)

◎第三部 同二歳以上四歳未満
北畑和徳(夢池)下沖一雄(今市)

◎第四部 同四歳以上の種畜生
山中敬美(夢池)今村治夫(餅原)

◎第五部 同八月以上一歳未満
福田 誠(前目)出水 勉(谷)

おしらせ



今月の主な行事

日	行事名	場所
平日(月)	健康相談と栄養改善教室	第七地区公民館
平日(火)	健康相談と栄養改善教室	第八地区公民館
平日(水)	結核検診	第一地区公民館
平日(木)	及び一般健康診査	
平日(金)	リハビリ教室	福祉センター
平日(月)	育児教室(生後五月児)	中央公民館
平日(火)	健康相談と栄養改善教室	第九地区公民館
平日(水)	生ワケ投与	勤労者体育センター

カギかけは 家族みんなの合言葉

全国防犯運動十月十一日・二十日

十分間に五・七件——この数字は、昨年、全国で起きた空き巣や窃盗などの発事件数です。泥棒は、あなたのほんのちよつとしたスキをねらっています。出かけるときは、必ずカギをかけると同時に、隣近所にも声をかけることをお忘れなく。

「いじめ電話相談」について

最近、児童生徒にかかわる「いじめ」の問題が大きく取り上げられています。心身ともに健全に育成されるべき児童、生徒の人權にかかわる問題として、また、相手の気持ちを思いやるという人間尊重の精神に欠けるものであります。「いじめ」は差別の芽ともなるものであることから、法務局では、「いじめ電話相談」を設けて、いじめに関する相談を受けております。秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

都城支局 ☎二一〇四九〇

人権擁護委員

桑畑 恵吾 ☎二一五二九五

福重美英 ☎五二一〇九〇

野瀬シズ ☎五二一三三三二

官公署に提出する 各種の書類は行政書士へ

行政書士は、県庁、市町村役場、警察署、保健所等へ皆様が提出される書類を、音様に代って作成し、又は代行相談を行っております。行政書士は、県内各市町村に事務所を設けておりますので、書類の作成提出相談等の場合は、是非ご利用ください。又、資格を持たない者が行政書士業務を行うと処罰されます。

行政書士会

悪質な訪問販売に御用心

訪問販売とは、セールスマンが家庭や職場を訪問して、商品の購入申し込みを受けたり、売買契約を結んだりする販売方法をいいます。また、路上などで行われる販売行為も訪問販売とみなされます。訪問販売は、主として「訪問販売等に関する法律」で、商取引に関するトラブルが起こらないよう、営業方法などが規制されています。最近では訪問販売の方法や契約からむトラブルが増加しています。そこで、悪質な業者による巧妙な手口を紹介します。

①セールスマンに「消火器の設置が義務づけられている。備えないと罰金ぐらいでは済まない」と言われて購入した。

②「消火器の点検とアンケート調査に来た」と言うので、消防署から来たものと勘違いし、消火器を高くで購入してしまつた。などのように、あたかも公的機関や地域の組織からの訪問のように装い、名をかたり、設置義務を強調するなどして、消火器を販売する悪質なやり方が後を断ちません。購入を勧められて不審に思われた方は、役場の消防係にお問い合わせください。

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、志明奇券を次の通りいただきました。有意義に利用させていただきました。誠にありがとうございました。

昭和六十年九月一日から
昭和六十年九月三十日まで

寄付者 続柄 故人名 地区 金額
徳田 敬利(母) ミ子 餅原 一万円
山元 保(父) 亘 下新 二万円
石坂 秀正(母) エノ 中 二万円
盛田キチヨ(夫) 隆 二小 各一万円
山領トシ子(夫) 文 綱 維稜田 二万円
大村 嘉吉(父) 善徳 上米 三万円
丸田 ヨシ夫(利) 吉 東原 二万円
若松 光夫(母) ソノネ 小 各一万円

今月の納税 県町民税 保険税 3期

11月は固定資産税
3期の納期です。

三股町の人口

昭和60年10月1日現在

人口18,765人 出生 23人
男 8,862人 死亡 7人
女 9,903人 転入 54人
転出 47人

世帯数 5,878戸
前月比+23人